

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

中期経営計画の目標

2031年3月期に連結経常利益25億円以上、ROE12%以上を達成し、創立140周年に向けた健全で強靱な企業体質を構築。

経常利益
25億円以上ROE
12%以上自己資本比率
35%以上有利子負債残高
12000百万円以下

② 中長期の経営戦略

1. 食品関連事業強化

国内冷凍食品事業で強固なサプライチェーンを活かし、商品開発と調達・販売ルート拡充により収益力強化。

2. 物資関連の基盤拡大

アゼルバイジャンの社会インフラで社会課題解決に貢献し、日本の優れた技術・製品輸出で収益基盤維持・拡大。

3. 電子関連の高収益化

産業・物流・車載用途で付加価値高い製品開発、DX対応システム・サービス事業展開、医薬品物流で安定収益確保。

4. 事業開発の加速

新規事業・ビジネスモデル開発、アパレル通販規模拡大、日本産食品海外輸出で競争力あるポートフォリオ構築。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・ 米国通商政策、地政学リスク高止まり、中国景気減速への対応
- ・ 原材料費高止まり、円安による輸入コスト上昇への対処
- ・ 人件費・物流コスト増加への経営対応

② 2026年度の挽回

- ・ 3年間累計経常利益55億円以上の目標達成に向けた各セグメントの取組み
- ・ 本中期経営計画2年目での業績回復体制の構築

③ 財務基盤強化

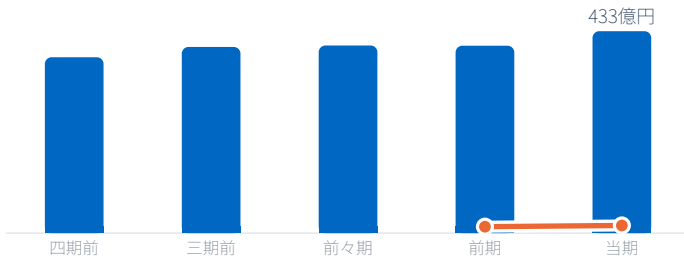
- ・ 自己資本比率向上と資本コスト超過収益性の維持
- ・ 利益に応じた株主還元と情報発信強化

面接で使えるポイント

- ・ 創立140周年（2027年5月）に向けた神栄チャレンジプロジェクト2026で...
- ・ 国内冷凍食品事業の強固なサプライチェーン、アゼルバイジャンでの社会課題解決など...
- ・ 人的資本経営・DX推進・サステナブル経営を経営戦略と連動させ、資本コスト超過の高収益体質を目指す企業グループ。

証券コード 3004

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
433億円営業利益率
3.8%財務健康度
32点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
763万円

卸売業内 85位/282社

平均年齢
41.4歳

卸売業内 174位/283社

平均勤続
14.4年

卸売業内 118位/282社

女性管理職
14.7%

卸売業内 43位/209社

男性育休
50.0%

卸売業内 135位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：「2026年度版 建築金物総合カタログ」が完成しました |

